

～新しい「公」づくり市民の皆様と～

2016

8

はじめよう!



CONTENTS

事業所の行事より	P 2～P 3
夏祭り／避難訓練／日常風景	
研修報告 応急手当普及啓発研修他	P 3
現場で働くスタッフの声	P 4
3月～5月 活動実績	P 5
移動サービス運転者講習会開催案内	P 5
4月～6月 会の動き	P 6
佐地共連資質アップ研修会開催案内	P 6
寄附金使徒報告	P 7
グループ事業所案内	P 8
脳いきいき健康塾～参加者募集	P 8



参観日風景(まちの子ども保育園)



市民生活支援センター
ふくしの家

総合事業のはじまりと「移動」の問題

先日、福岡市第1回移動サービス学習会(福岡市社協主催)に招かれ福岡市の移動支援モデル事業を行う上での課題や留意点等について、関係者と意見交換を行っています。介護保険のはじまりが民間事業者参入を促したのと同じように、今度は、介護保険改正による新しい総合事業が「地域(住民主体)参入」ともいえる方向性を打ち出し、その準備ともいえる動きが全国で広がっています。今回の移動サービスの学習会もそうした大きな流れの中の一つの取り組みですが、全国でその市町にあった独自の生活支援体制を創っていく方向へ歩みだしたことは確かかなようです。総合事業の中の、訪問Dタイプは「移動支援」ということになりましたが、先進事例を除き全国への広がりはこれからです。人口減少の高齢社会にあつて、福岡市のような取組が波及されていくことを期待したいと思います。

地域でアンケートを取ると、多くは外出が難しくなっているといった声が一様に聞かれます。私たちの生活は移動があつてはじめて成り立つものですが、普通に暮らしているとその有り難さに気づく機会はありません。ただ今日、高齢化によって移動が制限されている人たちの声は大きくなりつつあります。これまで普通にできていた日常生活の移動に支障がでてくると、代替手段が限りなく少ないことに気づかれます。老後の蓄えや年金で暮らしている人に、特別な移動ではなく、生きていくための日常生活の足に、高い負担を強いられるのでは、それはノーマルな社会とはいえません。道路運送法等、業を基準にした法律が、普段の日常生活の移動にまで影響を与え、外出を控えている人がいるとしたら、それは大きな社会的損失といえます。外出(社会参加)することによる健康維持への効果で、認知症や歩行障害になるリスクを軽減することはすでに証明されています。

総合事業が間もなく始まります。これ自体はそこそこの地域にあつたものをずっと作り続けていくもので「できあがり」は10年後というかもしれません。その準備をする調査の中で、おそらくどこの地域も必ずと言っていいほど「移動」に関する声は上がってきます。これからの地域づくりに、避けては通れないものとして、この課題に是非多くの方に向き合っていたただけることを願います。

代表 江口 陽介

まちのホーム医大前・夏祭り

H28年7月22日



鍋島シエストビル4Fまちのホーム医大前で恒例の夏祭りが開催されました。いつもハーモニカの演奏で楽しませてくれた西浩一郎さんが今回はアンサンブル・ヴェルデを率いてマンドリン演奏を披露してくださいました。スタッフも毎回いろんな余興で、がんばってくれています。利用者さまのお孫さん達も演奏したり♪みんなで唄ったり♪楽しんでもらえたでしょう！

合同避難訓練

H28年6月14日

まちのホーム循誘・グループホームじゅんゆう寮・ケアホームふくしの家

今回は地域の協力者様2名とホーチキ佐賀から2名の協力を得て、夜間の想定での避難訓練を実施しました。B棟利用者様のうち半数が車椅子なので2名が協力し近くの非常口から安全な場所への誘導を行なわなければいけない。A棟は2Fのグループホーム入居者を含め牛島天満宮に誘導する。など、留意点をふまえスタッフ12名と利用者様3名で協力し、消防隊員への状況説明のシュミレーション等行いました。



<気づき・反省>

- ・出火から119番通報まで7秒かかったが、実際の火災時には5秒以内で行う。
- ・B棟には利用者の部屋が20室あるが1度確認した部屋にはドアに印を付けたリ入口に枕を置くなどして2度見のロスを防ぐ。
- ・火元が油の場合は粉末消火器を火元に直接かけるのではなく、火の上に向けて噴射する。
- ・消火器を使用する場合は扉を背にして逃げ場を確保しておく。
- ・火災報知器専用電話は火災通知ボタンを押すだけで通話をする必要はないので、受話器を置いたまま利用者の避難を行う。(防火管理者 副島)



▼ まちのホームひかりの日常

- ①・② いちご～きゅうり
できました♪
- ③・⑦ 七夕会での魚釣り
ゲーム
- ④ 母の日
- ⑤ 歌垣公園へつつじ見学
- ⑥・⑧ 父の日
- ⑨ 森林公園散策

デイサービスひかりでは
お出かけ以外にも、囲碁・
オセロ・脳トレ・パチンコ・
料理の日・わんこの日・カ
ラオケ・お菓子作り等、日
常を楽しんでもらえるよう
工夫しています!



内部研修報告

平成 28 年 4 月 21 日 / ふくしの家事務局会議室 / 19:00~21:00

佐賀広域消防局に「応急手当普及啓発研修」を申し込み、第 5 回目のふくしの家内部研修を行いました。



内容は AED を使った心肺蘇生法実技中心で行われ、成人以外に
乳児への対応もお願いし、未経験者から数回の経験者まで一同に
学ばせて頂きました。人体模型を使用しての心臓マッサージ（胸
骨圧迫）は部位の確保、結構な力が必要など、中々大変だと感じる
女子スタッフの感想もありました。

いざという時にしっかり対応ができるといいですね!



平成 28 年 5 月 26 日 / 牛島天満宮境内

ふくしの家ホームヘルプサービスでは自主研修を行い
車いすの操作方法やスロープ車の取扱い方法について
実技をしながら、ベルトの固定方法や個別のご利用者
様に対するサービスの方法等、意見交換をしました。



平成 28 年 5 月 25~26 日 / ふくしの家事務局会議室 /
はじめよう Excel 教室

1 日目 作表・オート SUM 機能 計算式の入力方法

2 日目 windows live mail 2012 の使い方

ゆめくれよんスタッフによるパソコンの初心者向け講習を行いました。



19:00~21:00



学ぶ力は年齢に関係ありません。年齢によって自分の限界を決めてしまうことは、もったいない!!
新しい事を学ぶ謙虚さがなくなった人は変化についていけなくなるでしょう。

治療の選択

まちのホーム循誘 中島 恵子

私の父は平成20年に脳梗塞を発症し、27年に亡くなるまで誤嚥性肺炎を繰り返しました。飲み込みができず40日間、末梢の点滴だけとなり医師からは「回復の見込みはない。あと1〜2ヶ月でしょう。」と宣告されました。又「胃瘻造設という選択肢もありますか勧めません。」と言われました。セカンドオピニオンした他の医師からも「胃瘻をしたからといって元気になる事はない。寝て、目だけ動かしている状態になるかもしれない。」と言われました。しかし、日に日に弱り、痩せ細っていく父の姿を見ると、もしかしたら胃瘻をしてもう一度元気に話せるようになるかもしれない、父が笑っているところをもう一度見たいと切に思ったものでした。

医療従事者の半数以上胃瘻には反対の意見であるとアンケート結果があります。欧米では口から物を食べられなくなるといふ事は、死を意味します。口から食べられなくなっても胃瘻は作りません。点滴もしません。人々が胃瘻や点滴などの人工栄養で、延命を図るのは非倫理的であると認識しているからです。

日本では医師によって見解が違います。積極的に胃瘻造設を勧める医師もいれば反対の人もいます。又、家族でもひとりひとり意見が違ふでしょう。私も仕事から、家族から「あの時、ああしていれば良かった。」と後悔の言葉を聞く事があります。人はし

なかった方を後悔するものです。しかし、そうした方が、絶対に正しいという事はないし、医師が言うからそうしなければいけないという事ありません。どういふ結論にせよ、家族がその人の事を思い、考えて考えて出した答えに間違いはないと思うのです。

毎日が勉強

じゅんゆう寮 田口 ひとみ

私は「ふくしの家」に来るまでは産婦人科で若い人に食事を作っていました。食材を硬くても大きく切ってもそれが普通でした。

ところが、介護食では利用者様が歯がある人、無い人、入れ歯の人、飲み込みが悪い人、それによって食事の形態がまるっきり反対なので毎日が勉強です。

これからも利用者様がいつも笑顔で食事を「おいしい!」と言ってもらえるようにがんばっていききたいと思います。これからもよろしく願います。



個性発揮のカレンダー

まちのホーム医大前 冨永 然致子

「ひまわりの花は黄色」という私の固定概念をくつがえし、花びら一枚一枚をピンクやグリーン、

薄いブルーなどカラフルに塗ったひまわりを描きあげた方。関節炎で曲がり固まった指を一生懸命に動かし、小さくちぎった色紙を下絵に沿って貼る方。

「私、書ききらん」と言われながらも「火曜の次は何曜か

ね?」と周りの人に聞きながら身を乗り出して曜日を書き込まれる方。

「いいよ...オレは...」と断られたかと思いきや「そこはパ

ランスが良くないんだよ」と貼り絵の配置を変えられる方。

そうやって仕上がった毎月の力作のカレンダーに、ふっと目がとまると何となしに心が和み、慌ただし一日の気分転換になるのです。



あなたが働いてその子のパンを稼いできてもその子がほうっておかれるんじゃないでしょうもない。

いま、ほとんどの人が、生活をもっと豊かにしようと忙しく働いて、子どもたちは両親と過ごす時間がとてま少なくなっています。

子どもはあなたの愛を待っているのです。一対一の。(マザー・テレサ)



会 の 実 績

訪問介護

	ホームヘルプサービス			まちの移動ケアサービス		
	3月	4月	5月	3月	4月	5月
介護輸送	1,069	1,085	1,039	787	695	773
身体・生活	206	194	220	109	76	86

小規模多機能型居宅介護

	まちのホーム医大前			まちのホーム循誘		
	3月	4月	5月	3月	4月	5月
開所日数	31	30	31	31	30	31
実利用人数	22	21	22	26	26	24

ふくしの家
活動実績
3月～5月

通所介護

住宅型有料老人ホーム

福祉有償運送

	まちのホームひかり				ケアホーム				ふくしの家		
	3月	4月	5月		3月	4月	5月		3月	4月	5月
開所日数	23	21	22	開所日数	31	30	31	実利用人数	6	8	5
延利用人数	136	118	135	実利用人数	22	20	21	延回数	60	59	43

障がい者ICTサポートセンター(佐賀県委託事業)

ゆめくれよん+			
	3月	4月	5月
ボランティア派遣	5	2	20
パソコン教室	18	0	7
ボランティア養成	6	0	0
ボランティアスキルアップ勉強会	0	0	8
ふくしの家パソコン事業	34	17	17

子育て支援事業

まちの子ども保育園			
	3月	4月	5月
開所日数	26	25	23
児童発達支援	136	106	115
放課後等デイ	12	22	13
開所日数	31	30	31
一般保育	328	217	236
開所日数	26	25	23
小規模保育	160	111	105

特別支援学校放課後児童クラブ(佐賀市委託事業)

	チャレンジドクラブ			かがやきクラブ		
	3月	4月	5月	3月	4月	5月
開所日数	25	24	22	26	23	22
利用人数	156	133	132	187	179	180

ささえあい(循誘地区)

	ふくしの家		
	3月	4月	5月
買い物	0	0	0
剪定	0	0	0

佐賀市の第一次予防事業のひとつ「脳いきいき健康塾」の委託を受け、6月からふくしの家も運営に携わるようになりました。初めてボランティア活動をされる方の意気込みや、ベテランのサポーターさん達の貴重な意見を聞けたりと交流会では有意義な時間を持つことができました。参加された皆様ありがとうございました。



第1回脳いきいき健康塾サポーター交流会の様子(ふくしの家会議室)

受講者募集中

次回

移動サービス認定運転者講習会
(国交省大臣認定)

9月3日(土)～9月4日(日)

お申込み受付いたします

☎ 0952-36-6865



会の動き

- 5日 まちの子ども保育園スタッフ会議
 7日 移動サービス講師派遣/大分県国東市社協 (江口)
 14日 ふくしの家事務局会議 チャレンジクラブ運営会議
 18日 ふくしの家事業戦略会議
 19日 佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会/ふくしの家事務局
 21日 内部研修「心肺蘇生」佐賀広域消防局
 22日 循誘まちづくり協議会福祉部会出席 (江口)
 25日 まちのホーム循誘運営会議 27日 まちのホーム医大前運営会議
 28日 まちのホーム医大前運営推進会議 ふくしの家ホームヘルプ会議
 31日 南阿蘇支援竹田市ベースキャンプ派遣



- 1日 南阿蘇支援竹田市ベースキャンプ派遣 2日 認知症介護指導者会議出席 (江口)
 10日 まちの子ども保育園スタッフ会議 13日 ふくしの家事務局会議
 13日 訪問看護ステーション事業説明会参加/広島市 (江口) 14日 まちの移動ケア鍋島・まちのホーム医大前交流会
 14-15日 さわやか福祉財団九州1ブロック合宿/湯布院 (江口) 16日 ふくしの家事業戦略会議
 17日 佐賀県安心居住専門部会/教育会館 (江口) 佐賀県認知症介護指導者会議 (江口)
 18日 NPO法人かわかみ絆の会訪問 (江口) 認定NPO法人中原たすけあいの会訪問 (江口)
 19日 小規模多機能型居宅介護事業所意見交流会参加 (緒方)
 20日 脳いきいき健康塾開校式参加 22-23日 南阿蘇支援竹田市ベースキャンプ派遣
 25日 まちのホーム循誘運営推進会議 26日 ふくしの家ホームヘルプ運営会議
 25-26日 内部研修「エクセル教室」ゆめくれよん+
 27日 牛嶋天満宮交流会 (江口) 28-29日 さが移動ネット移動サービス認定運転者講習会
 30日 まちのホーム循誘運営会議



- 3日 脳いきいき健康塾開校式/ほほえみ館 4-5日 介護予防日常生活支援総合事業講師派遣/国東市 (江口)
 6日 脳いきいき健康塾開校式/大和老人福祉センター 介保集団指導参加・小規模多機能
 7日 認知症介護実践者研修講師派遣/シオンの園 (江口) 佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会/ふくしの家事務局
 8日 集団指導参加・居宅介護支援
 9日 高等学校進路指導担当教育との情報交換会参加 介保集団指導参加・訪問介護
 10日 認知症介護実践者研修実習受入 循誘まちづくり協議会福祉部会参加 (江口)
 11日 南阿蘇支援竹田市ベースキャンプ派遣 14日 ふくしの家事務局会議
 16日 ふくしの家事業戦略会議 まちのホーム医大前運営会議
 17日 介護予防日常生活支援総合事業講師派遣/大川市 (江口)
 18日 佐賀県地域共生ステーション連絡会総会・記念講演 市民協力田中尚輝氏
 22日 佐賀県地域共生ステーション連絡会中部ブロック会議参加 (江口)
 24日 介護予防日常生活支援総合事業勉強会講師派遣/江北町 (江口)
 さが福祉移動サービスネットワーク総会/ふくしの家事務局
 25日 さが移動ネット移動サービス認定運転者講習会臨時講習
 27日 脳いきいきボランティア意見交流会 まちのホーム医大前運営推進会議
 28日 第1回佐賀県地域公共交通活性化協議会参加/はがくれ (江口)
 30日 第1回移動サービス学習会講師派遣/福岡市 (江口) ふくしの家ホームヘルプ運営会議



佐賀県地域共生ステーション資質アップ研修会 「新しい福祉ビジョンその準備」

8月20日(土) 9:30~11:40 メートプラザ大ホール 参加費は無料です

講師:津金澤 寛氏 つばさグループ(株)オールプロジェクト代表取締役 社会福祉法人志真会(千葉県)理事長補佐

総合事業への参入も含め、他の制度サービスの可能性など、発想の転換が求められている今日。

今後どのような心構えで、どういった備えが求められるのか、介護保険の動向に精通され、講演等精力的に活動されている講師をお招きし、皆さんと前向きな危機意識を共有し、共に考えていきましょう。

【寄附金使徒報告】

皆様方から応援して頂きました寄附金 (平成 27 年 3 月～平成 28 年 6 月)
791,275 円の一部を以下の通り使用させていただきましたのでご報告致します。

福祉車両購入の一部代金として・・・・・・・・・460,000 円

まちの子ども保育園エアコン設置代金として・・・265,680 円

残金 65,595 円を含め、来期ご寄附いただく場合も本会では下記の
非営利活動をさらに充実してまいりますので、今後も寄附としての
応援をお願い致します。ありがとうございました。

- ◆移動困難者・移動制約者の福祉移動サービス
(ふくしの家ホームヘルプ・まちの移動ケア鍋島センター)
- ◆働く人を応援する、子育て支援活動 (まちの子ども保育園)
- ◆住民参加型生活支援ボランティアの育成 (まちのホーム医大前)
- ◆暮らしのささえあい活動 (まちのホーム循環)
- ◆地域の中に高齢者等が気軽に集まれる居場所づくり
(まちの暮らしステーション来ん家)



真崎自動車さんにはふくしの家の全車両の
メンテナンス等安心してお任せしています。
寄附も毎年してくださいます。ありがとう
ございました!!



すずしくなったよ!
ありがとうございます♪

ありがとうございます
心より感謝いたします

【賛助会費及び賛助寄附】
平成 28 年 1 月～平成 28 年 6 月受付まで
 榑古川総合印刷様 リコージャパン(榑佐賀支社様
 新川 リカ様 龍 恵美子様 北村 清子様 江口香津代様
 松本 宗大様 梅崎久美子様 今泉 恵代様 中原 俊和様
 江越 浩様 真崎自動車様 スマイル・トマト様
 さがフラメンコ向上委員会様 宮原 弘様

アンサンブル・ヴェルデ
8月17日(水) 12:00～12:50

♪さざんウェンズデイコンサート♪
佐賀銀行本店営業部ロビー

佐賀城本丸と松原神社日峯さんでのコンサートが決まっています。



今秋 10 月には
音楽が心に響きますように...



さがフラメンコ向上委員会様よりご寄付いただきました。ありがとうございます! 毎年、さがフラメンコ・
フェスティバル開催後に団体や施設に寄付、今年は
震災義捐金として熊本と大分にも送金されています。

<http://flamenco.saga.jp/>
<http://la-alegria.net/>
フラメンコ! はじめてみませんか! ?

合掌は右手が仏さま、左手が私たち、仏と衆生(しゅじょう)が
心を鎮めて手を合わせるとき 仏さまと一体になり、

一体になることを意味しています。
亡き愛する人と繋がるができると思うのです。

事業所

- ケアホームふくしの家【住宅型有料老人ホーム】
佐賀市東佐賀16番2号/電話0952-37-5102
- まちのホーム循環【小規模多機能型居宅介護】・グループホームじゅんゆう寮【共同生活援助】
佐賀市東佐賀16番2号/電話0952-28-4286
- ふくしの家ホームヘルプサービス【訪問介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】
佐賀市東佐賀16番2号/電話0952-41-9200
- まちの移動ケアサービス 鍋島センター【訪問介護・居宅介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F/電話0952-34-2790
- まちの子ども保育園【佐賀市認可小規模保育施設】・日常生活支援ルームぷりん【児童発達支援・放課後等デイサービス】
託児所しゅーくりーむ【佐賀県認証保育施設】
佐賀市大財6丁目4番4-66号/電話0952-22-3744
- まちのホームひかり【通所介護】
佐賀市光一丁目9番17号/電話0952-41-8422
- 佐賀県障がい者ICTサポートセンターゆめくれよん+【佐賀県委託事業】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー1F/電話0952-36-6977
- 市民生活支援センターふくしの家事務局
さが福祉移動サービス・ネットワーク事務局 / 佐賀県地域共生ステーション連絡会事務局
脳いきいき健康塾【佐賀市一次予防事業】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F/電話0952-36-6865
- 金立特別支援学校放課後児童クラブ「チャレンジクラブ」/電話090-9566-6768【佐賀市委託事業】
- 大和特別支援学校放課後児童クラブ「大和かがやきクラブ」/電話090-7475-8989【佐賀市委託事業】
- まちのホーム医大前【小規模多機能型居宅介護】/総合福祉ビルハーモニー窓口
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー4F/電話0952-36-6113



シニア世代のための「脳いきいき健康塾」参加者募集!!

ふくしの家事務局
☎ 36 6865
☎ 40 7256

佐賀市役所 高齢福祉課
介護予防係

■ 申込み問い合わせ

■ 料金 月額 2,000円 (教材費)

できる自宅教材をお渡しします。

教室のない日も毎日10分程度で

簡単な計算を行います。

楽しい会話と学習 読み書き・

内容 週1回の教室で仲間との

ほほえみ館

(金曜午前)

大和老人福祉センター 月曜午前

■ 場所

※会場により開催時間が異なります。

■ 時間 毎週1回 40分

■ 期間 6月〜平成29年3月

人は除く

※介護保険の要介護、要支援認定を受けた

自宅学習 10分程度ができる人

■ 対象 65歳以上で毎週1回の参加と

随時募集しています。

により専門的に開発された教材を使用した

教室です。空きがありますので9月末まで

東北大学の川島隆太教授 医学博士の研究



はじめよう! 8月号

【編集/印刷】 認定特定非営利活動法人 市民生活支援センター ふくしの家

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェスト 総合福祉ビルハーモニー3F

TEL (0952) 36-6865 FAX (0952) 36-6895

E-mail fukusinoie@world.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.fukushinoie.jp>

【発行】 九州障害者定期刊行物協会

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-16-1 毎日福岡会館 7F

TEL (092) 753-9722 FAX (092) 753-9723

【定価 100円】

【購読料は会費等を含む】

※身障第三種郵便の会報以外に、普通郵便扱いで行政、関係福祉団体、市民向けに広報誌としても送付しています。

